

<vol.174の記事>

- 熱中症には、まだまだご注意を！ 暑熱対策でパフォーマンス向上！
- 新国立競技場と、スポーツ振興について



まだまだ注意！ 暑さ対策！

新国立競技場騒動に思う・・・

久しぶりに熱中症対策について掲載します。

暑さになれる前の季節に多い熱中症ですが、夏休み中は、練習時間が長くなりがちなことに加えて、つい油断して寝不足なども。。熱中症は、体温のコントロールができなくなった時に発生する症状で、命にかかわることを十分に認識してしっかり対策をしてください。

特に、子どもは体温コントロールの機能が未発達で、健康状態をうまく伝えることができないので、周囲の大人は、十分に配慮して下さい。

◆暑熱対策

①こまめに水分をとろう！

運動前や運動中に、こまめに水分をとることを心がけて下さい。吸収の早いスポーツドリンクがおすすめ！

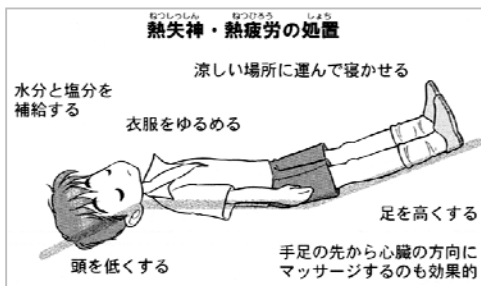
②体を冷やそう！

運動中や休憩時間に、太ももや頭、首に水をかけて、体を冷やすと効果があります。

◆熱中症の救急処置

①涼しい場所で横にして、水分補給を！

脈が弱く・速くなったり、呼吸回数が増加したり、脱力感・倦怠感、めまい、吐き気、頭痛などの症状がみられる熱疲労の時は、右図のように対処して下さい。



②意識障害を起こしている場合は救急車を！

意識障害を起こしているような場合には、一刻も早く集中的治療が必要です。救急車を呼んで下さい。

それまでの間、右図のように対処して下さい。



すでに見直しが公表され少し落ち着きを取り戻したような新国立競技場問題ですが、問題の根源が何も整理されていないままです。報道では、内閣府に大規模建設事業に慣れた官僚を集めた特別チームをつくり担当させるとあるので、技術的には心配はなくなったのかもしれませんが、しかし、手続きや技術的な問題だけでなく、大事なことが課題として残されています。

スタジアムの費用が社会的問題となったのは、今回が初めてのことでなく、2002年前後にもサイスタを巡り、いろいろな意見が交わされました。

新国立問題で、はからずもクローズアップされたスタジアムの建設費。サイスタは350～400億と紹介されている記事が多いようですが、周辺整備や地盤対策も含めると500～600億円とも言われています。

当時はワールドカップ開催には容認的でしたが、その後の維持管理費については、収支がとれないのであればスタンドを撤去してしまおうという意見も聞こえていました。

一方、アメリカでは、MLBの野球場などは、自治体間で誘致合戦が起きているところもあると聞いています。

この差は何でしょうか・・・実は、欧米ではスポーツ施設を日常からにぎわいの場として活かすことが進んでいて、まちづくりの中で野球やサッカーのスタジアムをうまく活かしている都市も少なくありません。

コンサートなどに使うことは、日本のスタジアムでもよくみられますが、スタンド内の施設を様々な用途に用いたりしていることもあります。

なぜ、日本でこのようなことができないのかというと・・・スタジアムや競技場を計画・設計する時に、大会終了後に一般の人がいろいろな使い方をすることを想定しないためです。

では、なぜそうしないのか。

大会を目指して設計をするときには、大会を成功させることが担当の方々が、大会のことだけ考えて設計してしまうのですが、担当者は、日常のスポーツ振興は役割として担っていないから想像がついていないのかもしれませんが。

トップアスリートが使う施設は、より高い水準のものを用意するので、そこを一般のスポーツ愛好家が使うのはも

つたない・・・という考えもどこかにあるのかもしれませんが。

もちろん、サッカー場の芝生などは、国際大会やJリーグが試合を行うものと、市民が毎週使う芝生では全然別物でかわらないのですが・・・。

業績や景気に左右される企業スポーツが相変わらず不安定な中、顧問の過重労働や少子化により学校部活動も悲鳴をあげています。

従来のスポーツ振興の仕組みを変えていくことが求められ、トップスポーツと地域スポーツを好循環させる仕組みなどが模索されています。

このような中、国内のスポーツのシンボルとなる新国立競技場には、高いレベルでトップスポーツと市民スポーツの相互利用が可能となり、より多くの人々がスポーツに触れる、スポーツを好きになり、新国立競技場を好きになるような設計と整備後の運用を、日本人の高い技術力と細やかな配慮の心をもって実現して欲しいと願います。

会費の改訂に関する検討

2014年度決算および今年度予算について前号でお知らせしました。現在、クラブの収支がほぼ均衡しています。これをうけて、今後の会費のあり方について、理事会で検討を進めています。

例えば、現在のクラブ事務所とスタジオは入居時に700～800万の改修費用がかかりましたが、これはそれまでの活動の中で少しずつ積み上げた資金があったためにできたことでした。

今後、事務所の老朽化、テニスコートなど施設の整備なども必要とされていることを考えると、クラブとして積み立てをしておくことも必要です。

一般の企業であれば、借金をして毎月の売上の中で返していくのですが、私たちはそのようなリスクある方法はできるだけ避けたいと考えます。

ほとんどのプログラムで十年近く値上げせずに(値下げをしたプログラムもあり)やってきましたが、用具の値上げなども続いたことから、会費の値上げもやむなしとして、金額の検討を行っています。

会員の皆さまにおいては、事情をご理解いただきたくお願いいたします。

ご疑問、ご意見等がありましたら、事務所までお寄せください。

具体的には8月末には決定しお知らせし、10月頃からの適用を考えています。



■きた!Urawa フェスタ 2015■

お知らせ等

◆8月13日(木)の午後は、拡大サッカー広場

お盆の真ただ中、13日(木)の午後、駒場サブの予約が取れました。

日中は、スーパーシニアを交えた多世代交流、夕方5時～7時は、ユースや生涯コース、広場会員の保護者など一般成人による交流試合などを検討しています。

詳細は、ホームページやfacebookでお知らせしますのでご確認ください。

たまには子どもと一緒に球を蹴ってみようかという方、ぜひご参加ください。なお、参加費は、現会員は無料、会員の家族やご友人は1人200円とさせていただきます。

◆きた!Urawa フェスタ 2015 大成功!

6月29日(日)前日までの雨が心配されましたが、朝からピーカン! グラウンドもどンドン乾き、第4回目となったフェスタは、無事開催できました。

今年は、少年団からの参加者も均等にチーム分けをした4チーム対抗。フリーマーケット、マーチング、起震車などもあわせて参加者・来場者は、約1000名!

4年目をむかえ、じわじわと参加者・来場者も増加。

消防団、ふれあいプレイランド、スマイルハウスなど地域の多様な団体に加えてボランティアで参加する方々をつくる実行委員会。来年度からは、もっともっと仲間を増やしていけるといいな! ^^!

◆日本通運うらわ 野球部の応援に行ってきました!

7月18日、東京ドームに都市対抗野球に出場する日通野球部の応援に行ってきました!

いつもテニスコートをお借りしている日通さん。対戦相手は、群馬県太田市の富士重工業。試合は初回到4失点(@_@;)。そこから粘り強く追いつけ、6回には同点のチャンスまで迎えましたが、結果は惜しくも4-6で敗戦。



地元さいたまからも、多くの少年野球チームなどが応援にかけつけていて、かなりの盛り上がり。ヌウも来ていました!

せっかく地元にある野球チーム。これから交流の機会なども作っていきたいなと思いました。頑張れ日通!